反戦 思い思いに

国会前アクション

市民団体「WE WANT OUR FUTURE」のよびかけで29日夜、国会前で行われた「せんそうさせない緊急アクション」。多くの参加者が、架空団体の旗やグッズなどを持ってアピールしています。どんな思いを込めているのか、聞きました。

戦争したがる政治を止めようとコールする人たち＝29日、国会正門前

ヘイトをあおらないで

■Kさん（50代）

ヘイト（憎悪）を懸念します。中国の食品を輸入する勤務先の社長は、中学生の時から日本に住む中国人。法律を守り税金を納めてきた人なのに、あおられたヘイトでおとしめられ、許せない気持ちです。手書きのメッセージはデモにいる警察官に向けて。私は犯罪者じゃないし。高市早苗首相の統一協会との関係や裏金など、昭和の時代の政権ならとっくに退陣したような問題をはっきりさせてほしいです。

プロパガンダは絶対嫌

■20代の姉妹

暇だったので、好きなマンガ「名探偵コナン」のイラストを描いています。絵を描くことや観劇が続けられる平和な世界がいいです。プロパガンダに使われるのは絶対嫌です。（妹）

私は別のページに「憲法守れ」と書きました。自分で書くことで一個人として来ているんだと示したいです。（姉）

バンドの輝きを永遠に

■30代の会社員

派手な化粧や奇抜なヘアスタイルで音楽を表現するビジュアル系バンドを愛しています。音楽やアートなどの芸術はプロパガンダに使われた歴史があります。アーティストの表現の自由を守り、彼らの演奏を楽しめるためには人権と平和が第一です。平和憲法がある中でバンドが永遠に輝き続けられるようにしてほしいと願っています。

米の帝国主義が大嫌い

■フィリピン出身 パークさん

仮面は米トランプ大統領、帽子は（米国を擬人化した）アンクルトムです（写真・左）。帽子にドクロをたくさん描きました。米国がイスラエルとともに多くの子どもを殺していることを表現しました。つくるのに1週間かかりました。友達の仮装は、アンクルトムの帽子をかぶった高市早苗首相です。

アメリカの帝国主義が大嫌いです。僕も一緒に来た友達10人も初参加です。「武器取引やめろ」と訴えています。

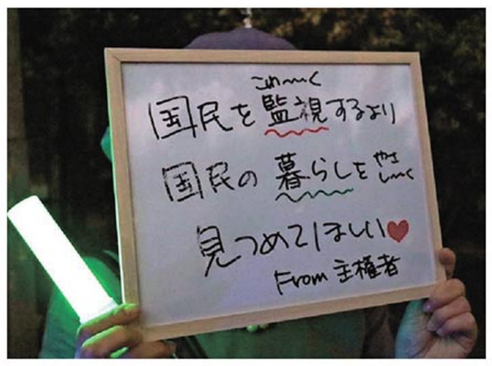
国が悪の組織でつらい

■やかんさん（32）

ネットでいろいろ選べるプラカードから「国が悪の組織でつらい」を選んで着けたのは、多すぎる政府への不満を一つで表せるからです。一番は、日本をアメリカに差し出していること。国益になることはしていない。

日本にも戦争が近づいていると感じます。これから何十年も生きる自分のような国民を守るのが政治なのに。そして、自由がなくなる危機感もあります。

みんなが幸せな社会に



■50代の会社員

同性カップルのパートナーと参加しました。高市早苗政権が発足してから国民を監視するような流れが生まれていると感じます。私を含め、多くの国民は監視されることよりも、日々のくらしが良くなることを望んでいます。

同性カップルの婚姻を速やかに認めてほしいです。「国家情報局」の設置ではなく、みんなが幸せに暮らせる社会を求めます。

ゲーム風プラカードで

■神奈川・40代会社員

自民党の門ひろこ衆院議員が国会前のデモを「ごっこ遊び」と揶揄する発言に対して、主権者として権利を行使して参加していると、手作りのフラッグとゲーム風のプラカードで表現しています。高市早苗政権の圧政や独裁には負けません。

（ゲームなど）オタク的なものが好きな人も参加しているという安心感があり、参加しやすいです。

自作機械で地面に映す

■「眠い」さん

懐中電灯とカップ麺容器でつくった機械です。建物などに映像を映すプロジェクションマッピングに着想を得て、地面に「人権」という文字を映しています。戦時中に飢餓を体験した食品会社創設者の理念は「二度と同じ思いをさせたくない」です。それが、この容器を選んだ理由です。私のような強くない人間でも生きていくことができるのは、人権があるから。強いものが弱いものを抑圧する社会には反対です。

戦争はいかに精神を破壊するか
司法が初めて認定した
民間人戦争PTSD
弁護士 瑞慶山 茂 精神科医 蟻塚 亮二 編著
戦後81年、沖縄戦・南洋戦・原爆・空襲等の民間戦争被害者は、なぜ今も戦争PTSD（心的外傷後ストレス障害）による精神破壊の我慢（受忍）を強いられているのか。国が放置する民間戦争被害者の救済法の早期制定を強く求める！
新刊 A5判・480頁 4950円（税込）
高文研 千代田区神田猿楽町2-1-8 ☎03-3295-3415

「ホロコーストの記憶」をたどる旅に出かけてみませんか
改訂新版
「ホロコーストの記憶」を歩く
過去をみつめ未来へ向かう旅ガイド
ヨーロッパの十一都市にあるホロコーストの記念碑を紹介する最新の旅ガイド。変動する世界情勢の中で変わってきた「揺れる記憶 変わる記憶」から過去を見つめ、私たちの未来を考える。
石岡史子・岡裕人／著 A5判 定価1650円（税込）
子どもの未来社
〒101-0052 千代田区神田小川町3-28-7-602 TEL:03(3830)0027 https://www.comiral.jp/

差し迫った憲法論議を前に
清水雅彦／著（日本体育大学教授／憲法学） イラスト・あべのりこ
シン・ケンポウ
◎やさしく学ぶ日本国憲法
難解になりがちな憲法の基礎や現代的な争点を多数のイラストを活用して、具体的で視覚的にも理解しやすい形で解説します。これから憲法を学びたい方も、知識の整理をしたい方にもおすすめの一冊です。
A5判 120頁 定価1,320円
同時代社 （価格税込） 〒101-0065東京都千代田区西神田2-7-6 電話03-3261-3149 FAX03-3261-3237

反撃 改憲・反動の嵐に抗して
五十嵐仁（法政大学名誉教授・労働者教育協会会長）著
「自民党政治にさよならを」告げるために。『追撃』（24年）『撃破』（25年）に続く政治情勢3部作。第二次安倍政権から十数年間の日本の政治過程をふまえ、高市政権の改憲・反動大攻勢に反撃の「のろし」をあげるための闘いの書。
最新刊 四六判・132頁◆定価1210円
好評既刊 追撃（24年） 撃破（25年） 定価 各1210円
学習の友社 東京都文京区湯島2-4-4 TEL03-5842-5641 FAX03-5842-5645 tomo@gakusyu.gr.jp

女性研究者率18%！その要因と対策とは？
日本で女性研究者が増えない理由（わけ）
アカデミアに残るジェンダー問題
中野円佳 編著
東京大学博士課程に在籍していた8研究科・男女54名、女性限定公募実施10大学・採用者14名へのインタビューが明かす実相。
〈推薦〉林香里さん・熊谷晋一郎さん
46判・3740円（税込）
東京文京区本郷2-27 大月書店 電話03-3813-4651 otsukishoten.co.jp（メルマガ配信中）

傷が少しでも癒えるように
石川優実 著
◉定価：本体2200円+税／四六判
私が私を取り戻すまで
性暴力被害のその後を生きる
性暴力から安心して回復できるのはどんな社会か、そもそもなぜ性暴力は起きるのか。紡がれた著者の言葉からなげかけるエッセイ。
新日本出版社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-6 ☎03-3423-8402 FAX 03-3423-8419

東京図書出版 https://www.tokyotosho.co.jp
資本主義「解体新書」
藤本高士 著 四六判並製 128頁 990円
労働力が商品として売買される社会、近代経済学はこれに立ち向かえるか。「搾取の仕組みとその弊害」『資本論』を力に、働くことが喜びとなる社会をと問いかける。資本主義の全体像を明らかにし、その病を克服する展望と道を探る。
発行/発売 東京図書出版/リフレ出版 東京都文京区白山5-4-1-2F〈価格税込〉 TEL 03-6772-7906 FAX 0120-41-8080

いまこそマルクス
志位和夫×マルチェロ・ムスト
国際的に著名なマルクス研究者のマルチェロ・ムスト氏と志位和夫議長が語り合います。世界的なマルクス・ブームの要因、『資本論』が生命力をますます発揮していること、政党の重要性など、両氏の見解の共通点が次々とわかるおもしろさを味わえます。
A5判48ページ 定価270円（本体245円+税） 送料100円
日本共産党中央委員会出版局 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3470-9636 FAX 03-3470-1505 Eメール book@jcpmp.jp